

一年間のICRCの取り組み



家族の再会支援

144,863通(うち被拘束者からは30,583通)の赤十字通信が寄せられ、134,696通(うち19,825通は被拘束者宛)を届けました。また、209,977件の家族間通話を支援しました。ICRC職員が収容所に訪問した被拘束者の所在を知らせるため、家族にかけた電話は16,823件に上りました。

ICRCは同伴者がいない、または家族と引き離された引き離された2,763人の子どもを登録しました。その中には軍から解放された583人も含まれます。家族がみづかり再会を果たした子どもは1,811人。家族の行方について情報を掲載するICRCのウェブサイト「ファミリー・リンク」には21,632人の氏名が公開されました。

水と住宅



ICRC職員、各国のエンジニアと技術者は、53カ国で水・衛生施設の建設業務を展開し、22,030,000人が恩恵を受けました。彼らは国内避難民、帰還民、地元住民で、その多くは農村地域やインフラ不足、安全でないなどの理由により支援が行き届きにくく、また移動の自由が制限された地域に住んでいます。このうち、32%は女性で40%は子どもでした。

障がい者支援

ICRCの物理療法士は28カ国の95施設で支援を提供し、244,280人の患者がサービスを受けました。施設では、20,345の人工義足と60,372の整形器具を生産しました。また3,414脚の車椅子と34,392本の松葉杖及び杖を配付し、その多くを国内で生産しました。

法医学サービス

行方不明者の捜索や保護を目的とした法医学サービスを60カ国で提供。主に、遺体や遺留物の特定等、過去の経験を基に推進し、支援しました。

武器携帯者との関係構築

紛争地で武器を利用する軍人、警察官、武装グループ等と対話の機会を持ちました。32人のICRC専門家が、90カ国以上で12,000人の軍人、護衛官、警察官を対象に130以上のワークショップやラウンド・テーブルを実施しました。また、162カ国の武装勢力との対話を維持しました。

人道法教育

各国の教育機関と赤十字社・赤新月社はICRCから支援を受け、人道法と人道教育が学校のカリキュラムに正式に取り入れられるよう働きかけました。10,000人が国際人道法教育プログラム(EHL)に参加しました。また、「EHLミニテキスト版」が数カ国語で出版されました。

武器汚染処理

武器汚染処理の分野では、25の国と地域において、各国赤十字社・赤新月社、国内行政機関をサポートしました。

広報活動

2012年もICRCの人道支援活動はメディアで広く取り上げられました。ICRCがメディアで言及されたのは23,500回で、2011年から30%上昇しました。



赤十字国際委員会 駐日事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-13-1 虎ノ門40MTビル6階
TEL: 03-6459-0750 / FAX: 03-6459-0751
Twitter @ICRC_jp

ICRC

ICRC駐日事務所

検索



被拘束者の訪問

97の国・地域にある1,744の収容施設において540,669人の被拘束者を訪問。うち、26,609人(女性626人、男性1,235人)を個別に面談しました。被拘束者のうち、2012年一年間で訪問し登録したのは13,569人(女性283人、男性1,085人)です。ICRCの支援により、13,913人の被拘束者が家族と面会しました。



各国赤十字社・赤新月社との協力

ICRCは各国の赤十字社・赤新月社と協力関係や対話を拡充しながら、紛争や他の暴力行為に苦しむ人々への支援をより手厚くすることを目指しています。2012年は、ICRCの活動の43%が各国赤十字社・赤新月社と協力しながら実施されました。プログラム別内訳は、支援:52%、保護:34%、人道法の普及:42%となります。



生計の安定

63カ国において各家庭の経済的安定を目的とした支援を行いました。国内避難民、帰還民、地元住民そして自由を奪われた人々6,283,000人に対して食料支援を、2,772,000人に日用品や衛生用品を提供しました。自給自足を可能にする農業インフラの再構築や建設、獣医サービス、家畜の飼育、農業・種子・農機具の寄付といった支援が、2,521,000人に行き渡りました。2,521,000人が就労機会(cash for workプログラム)を得たりトレーニングを受け、500,000人以上がビジネスを立ち上げるための小額融資制度を活用しました。

ヘルスケア・サービス

2012年を通して、292の病院と391の医療施設を支援し、約7,168,000人が恩恵を受けました。コミュニティベースの保健・衛生プログラムは23カ国で実施。武器による負傷者14,200人とその他の理由による負傷者114,300人が、26カ国にあるICRCの支援する病院に運ばれ、133,100件以上の外科手術が行われました。

アカデミックとの連携

80カ国以上の大学において人道法関連の授業をサポートしました。300人の教授、講師、大学院生が参加する人道法に関する地域別または国際的なトレーニングセミナーを12回開催しました。また人道法に関する地域別コンペは6回開催されました。

アーカイブ・情報管理局

17,000リニア・メートル以上のデータや資料を取り扱うICRCのアーカイブ・情報管理局は2,500件の問い合わせに対応しました。また保護・追跡アーカイブユニットには、過去の紛争犠牲者から1,555件の情報依頼が寄せられました。188団体から計5,700人が訪問しました。

人道法の普及と国内法への適用

人道法関連条約の批准と国内法への適用について、ICRCは引き続き世界各国の行政機関との対話を行っています。2012年にはカタールとシエラレオネの二カ国で国内委員会が設立されました。



ICRC

FACTS & FIGURES

2013年7月

150 years of humanitarian action

数字とグラフでみるICRCの活動



2013.01.31/2009.07.2013.2.000

2012年の活動規模



ICRC本部



ICRC地域代表部



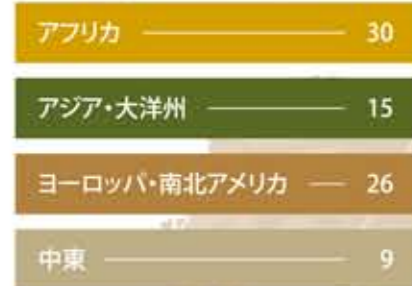
ICRC代表部



ICRC事務所



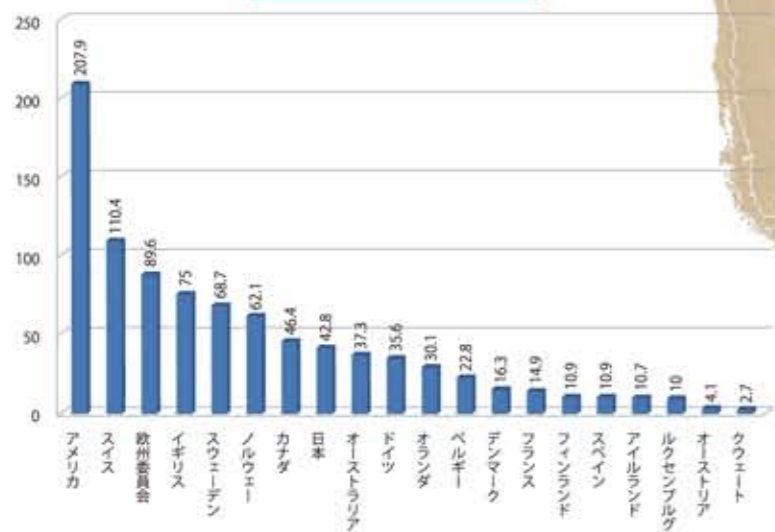
地域別ICRCの拠点



ICRCの職員数

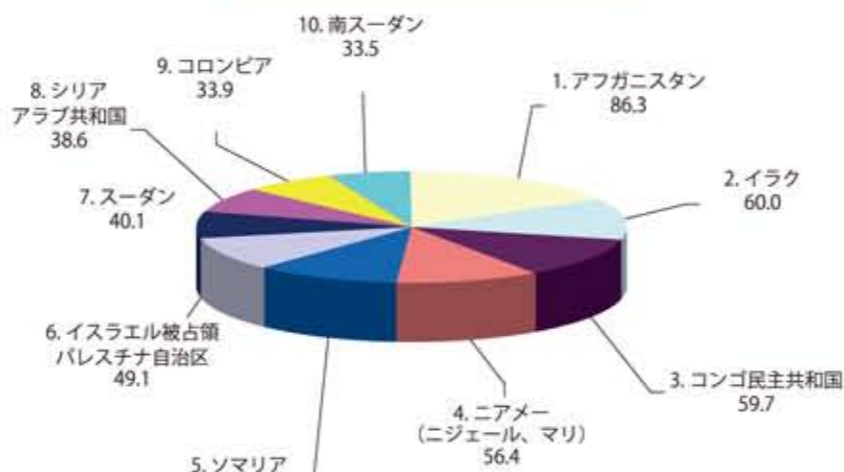


拠出額 上位20カ国



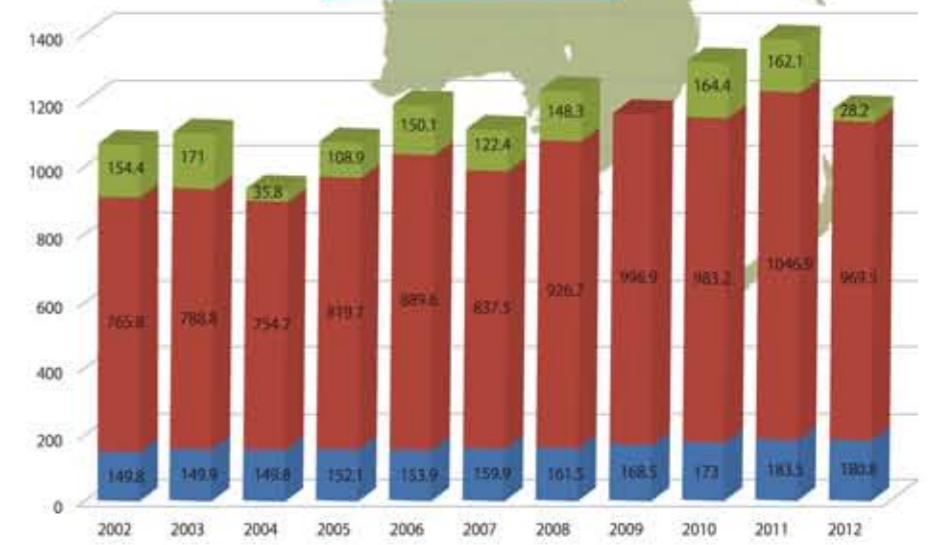
単位：百万スイスフラン

活動規模 上位10カ国・地域



単位：百万スイスフラン

過去10年の活動変遷



■ 本部 ■ フィールド ■ 追加アビール

単位：百万スイスフラン

(1 スイスフラン=約 105 円)